

たからづか学校応援団

～できることを・できるときに・できることから～ ID1001368

「たからづか学校応援団」は、学校・地域・家庭が一体となって地域全体で子どもを育てることを目的に、平成20(2008)年度から実施しています。「できることを・できるときに・できることから」を合言葉に、市内小・中・特別支援学校で学校支援のボランティア活動を行っています。

本の読み語りや登下校の見守り、園芸活動、清掃活動、行事補助など、学校からの依頼を受けて、さまざまな場面で活躍中です。

活動しているボランティアの皆さんからは「保護者や子どもたちからのお礼の言葉が嬉しい」「支援する側のこちらがエネルギーをもらっている」などの声が寄せられています。



登下校の見守り

「たからづか学校応援団」では、ボランティアを募集しています。

申込方法 教育委員会社会教育課で配布している登録申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、郵便またはファクスで同課へ提出してください。

郵送先 〒665-8665(住所不要) 市役所教育委員会社会教育課
※「たからづか学校応援団ボランティア研修会」を2月に開催します。
詳細は本誌2月号でお知らせします。

教育委員会社会教育課 (☎77・2029 FAX71・1891)



あんな活動 こんな活動

コロナ禍でも工夫を凝らして活動しています

トライやる・ウィーク

市立中学校の2年生が取り組む「トライやる・ウィーク」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従来のような地域に出る活動ではなく、学校ごとに独自のやり方で実施しています。

御殿山中学校では、10月11日～15日の計5日間にわたって学校内で講演会と体験活動を実施しました。企業や地域の人をお招きし、生徒たちは、助産師や美容師といった職業体験、フラワーアレンジメントなどのモノづくり体験、茶道などの文化体験といった



助産師の職業体験

多種多様な活動のほか、体験活動実施に向けた事前準備も生徒たちで行うなど主体的に取り組まれました。講演会では、卒業生でシンクロ高飛び込み東京オリンピック出場の板橋美波さんにオリンピックの裏話などを聞きました。

宝塚第一中学校では、西谷地域で農業を営む人を学校にお招きして農業についての講演会と黒枝豆の収穫体験を通して、地産地消や地域への理解と関心を深めました。農業のやりがいや苦労したことなどについて話を聞いた後、たくさんの黒枝豆が付いた束を一人ずつ受け取り、手やハサミを使って袋一杯に収穫しました。農業の大変さとやりがいを知る貴重な体験となりました。



黒枝豆の収穫体験

音楽発表会

光明小学校では音楽発表会が開催されました。音楽の教育活動に制限があり、各学年、打楽器を中心とした合奏のみの発表となりました。学校文化である「光明太鼓」のオープニングに始まり、ダンスや台詞を取り入れた見ても聞いても楽しい発表や、多彩な音色を響かせたすてきな演奏が繰り広げられました。エンディングは、全校児童による「世界中の子どもたちが」のパフォーマンスで、子どもたちは覚えた手話で歌詞を表現しました。制限がある中でもすてきな音楽発表会となりました。

今後も各学校では、新しい生活様式に合わせた方法で、子どもたちの成長につながる学校活動に取り組めます。

子どもたちによる手話パフォーマンス

